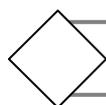


2 「体験教育」をはじめ兵庫の特色ある教育を推進します

(2) 震災の教訓を生かし語り継ぐ兵庫の防災教育の推進



兵庫の防災教育の推進と発信

[今後の方向と目標]

阪神・淡路大震災から14年が経過し、震災体験の風化が懸念される中、「震災・学校支援チーム（EARTH）」を中心に教職員が震災の貴重な教訓を子どもたちに確実に語り継いでいかなければならない。そうした取組を通して、地震や風水害などの自然災害から自らの生命を守るのに必要な能力や態度を身に付けさせるとともに、助け合いやボランティア精神など「共生」の心をはぐくみ、人間としての在り方生き方を考えさせる「兵庫の防災教育」の一層の充実を図ることが求められている。

また、教育復興担当教員や心のケア担当教員の活動の成果を生かし、様々な要因で心に傷を受けた子どもたちの理解や、心のケアの充実を図る必要がある。

さらに、人と防災未来センター等の関連施設を活用した学習や、地域と学校が連携した防災訓練等を実施することにより、一人一人が安全で安心なまちづくりに参画する機運を醸成する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

より実践的な防災訓練の実施.....全公立小・中・高等学校を対象

地域と学校が連携した小学校区単位の防災訓練等の実施.....全小学校区を対象

災害対応マニュアルの作成（平成21年度）.....全公立学校を対象

防災教育推進連絡会議の開催.....全市町

[施策の取組]

すべての公立学校において防災教育が行われるよう、防災教育担当教員を対象とした研修を実施するとともに、防災教育の経験が浅い教員にも対応できる資料・プログラムの作成を検討する。

すべての公立学校において災害対応マニュアルを活用した防災訓練を実施し、校内防災体制を構築する。

避難所に指定されている学校等において地域が実施する防災訓練等に児童生徒が参加するなど、学校と地域が連携した取組を推進する。

教育復興担当教員及び阪神・淡路大震災に係る心のケア担当教員の取組の成果を踏まえ、カウンセリングマインドの向上のための研修を実施し、災害時等における子どもの心のケアに係る教員の資質能力を高める。

「震災・学校支援チーム（EARTH）」の人材を養成し、学校と地域が連携した防災訓練の実施など、防災教育及び学校防災体制を充実するとともに、取組の成果を県内外に発信する。

[これまでの主な取組]

防災教育専門推進員の配置

学校における防災教育の推進及び防災体制の一層の充実を図るため、各教育事務所・教育振興室に防災教育専門推進員を配置する。

防災教育推進連絡会議

防災担当部局・教育委員会・学校関係者の三者が連携を図り、学校防災体制の整備・充実や兵庫の防災教育の推進等について、目標設定や進行管理を行う。

防災教育研修会

教育事務所ごとに、公立小・中・高等学校及び特別支援学校の防災教育担当教員を対象に、学校における防災体制の整備、防災教育の充実、心のケアなどについて研修を行う。

防災教育推進指導員養成講座

教職員を対象に防災教育や学校の防災体制、心のケアに関する知識・技能を備えた防災教育推進指導員を養成する講座を開設する。

阪神・淡路大震災に係る心のケア担当教員研修会（～H21）

震災により心に傷を受けた児童生徒の心の理解とケアなど、兵庫の防災教育の充実のための方策等に関する研修会を行う。

震災の教訓を語り継ぎ、生かす兵庫の防災教育推進事業（H22～）

平成21年度で終了した教育復興担当教員及び心のケア担当教員の取組の成果を継承し、今後の災害に備える心のケアを推進する。

- ・ 災害時の心のケアに関する成果を踏まえた研修プログラムを策定し教員研修を実施する。
- ・ 防災教育副読本を作成・配布、活用する。

震災・学校支援チーム（EARTH）の運営

災害等の発生に際し、被災地の学校の復興支援活動にあたる、教職員による組織「震災・学校支援チーム（EARTH）」の運営並びに、構成員のスキルアップのための訓練・研修を行う。

県立舞子高等学校環境防災科

阪神・淡路大震災の教訓を生かし、自然環境や社会環境とのかかわりを視点に据えて、人間としての在り方生き方を考えさせる防災教育を推進することを目的とした特色学科として、全国に先駆けて設置した。